

受賞コメント



🏆 最優秀賞

『心に残っている事』

宋 岩

■国 籍：中 国

■入 国 日：2010年2月22日

★受賞した今の気持ち

日本に来て、（受入れ企業外） 株式会社に入って、いろいろ学びました。3年間の良い思い出になりました。みんなのおかげです。ありがとうございました。

★この題材を選んだ理由

一生忘れないことですので。

★これからの目標・夢

カーテンに関する工場を作りたいと思います。

★その他のメッセージ

《受入れ企業様からのコメント》

配属部署はもとより、他部署でも評価の高い実習生です。この2月帰国となり、大変残念ですが、宋岩君なら母国で必ずや成功することでしょう。

最優秀賞

『心に残っている事』

宋 岩

幼いころから今まで、人からいただいたプレゼントを思い返してみると、さまざまなものがあります。その中で最も印象深いものはあるおじいさんからいただいたプレゼントです。それは今までも私の心に深く残っています。

初めて日本に来た時、新たな環境、見知らぬ人々ばかりでした。この異国の土地に立ち、心から孤独感と恐怖感を味わうようになりました。そんなある日の事、アパートの湯沸し機が壊れてしまったので、非常に不便になり、アパートの大屋さんに相談しました。結局部屋に湯沸し機を取り付けてくれる事になりました。翌日、朝起きて、中国から持ってきたインスタントラーメンを食べていたところ、ドアを叩く音がして、開けたら、六十歳ぐらいのおじいさんが目の前にいました。「すみません、大屋さんに頼まれたので、湯沸し機を取り付けに来たのです」と言っていました。すると、おじいさんは部屋を通って

取り付け始めまりました。その間にいろんな
事を話し掛けていたみたいです。その中で、
強く残っている話は「日本に来てどのくらい
ですが、日本の生活は慣れましたか、大変で
しょうか」と聞かれました。「日本に来たば
かりです、中国と日本の文化、風俗、習慣の
差があり、まだ慣れていません。物価も高
いし、言葉もあまり通じないから、とても大
変だと思います」と下手な日本語で言いま
した。「そうなんですか。大変そうだね。でも
いい人生を作るために目標を何か、てこずこ
う頑張ることは一番大切だよ」と言っていました。
取り付けが終わり、おじいさんが帰って
行きました。翌日仕事が終わって、家に戻って来
たら、ドアの前にビニールが置いてあって、
その中に果物と手紙が入っていました。手紙
には「冬来たりなは春遠からし。日本の生活
は大変だがど、喜しく、悲しさを乗り越えて
、絶対豊かな日本の研修生活を迎えますよ。
インスタントラーメンばかり食べて行、たら

、体によくないから、体には気を付けてね。
コッココ、頑張ろうね。湯沸し機を握え付けた
おじいさんより」と書いてありました。
おじいさんから書いていただいた手紙と果
物を見ながら私は胸がい、ぱいになり、大粒
の涙が雫水落ちました。冷たか、た心が温め
られました。おじいさんのプレゼントが溶人
で見えました。異国で暮らしている私はあ、
という間に心の苦しみと寂しさが消えてしま
した。おじいさんに言、てくれたように寒く
て晴い冬の後、必ず暖かく明るい春が訪れる
はずだ、自信を持って頑張ろうと思ひました
。そして、どんな困難に遭、ても、おじいさ
んから貰、た暖かいプレゼントをい、うまで
も胸に秘めてい、るから、こ水こそ私を前向き
にさせる原動力に存、ていました。おじいさ
んのように心優しいし、思いやりのある人に
存、りたいと思、ています。